

平成21年10月15日

NO. 36

東濃西部少年センター
TEL. FAX 23-3455

センターだより

平成21年度岐阜県優良少年指導員表彰 東濃西部少年センターより9名の方が受賞

来る平成21年11月20日(金)岐阜県庁大会議室で開催される岐阜県少年補導員大会において、多年にわたり少年指導活動にご尽力いただいた方が知事表彰、県民会議会長表彰を授与されます。

当日在任10年以上の優良少年指導員が知事表彰、5年以上の優良少年指導員が県民会議会長表彰を受けますが、東濃西部少年センターからは、下記の9名の方が表彰されます。

9名の皆様本当におめでとうございます。特に10年という長い期間、多治見地区の指導員として模範的な指導活動をしてこられた5名の皆様に対しては、多大な敬意を表しますとともに、言葉で言い表せない感謝の念を感じています。

これからも引き続き青少年健全育成、非行防止活動にご精励いただければ幸いに思います。

表彰される方々

知事表彰

梅村 修詳様(多治見地区指導部)	吉田 富美子様(多治見地区指導部)
水野 圭太様(多治見地区指導部)	大竹 敏也様(多治見地区指導部)
林 達郎様(多治見地区指導部)	

県民会議会長表彰

稲垣 登代子様(瑞浪地区指導部)	工藤 俊明様(瑞浪地区指導部)
出口 満知子様(土岐地区指導部)	高綱 紳介様(瑞浪地区指導部)

お知らせ

11月は「全国青少年健全育成強調月間」です。各地区で行われる駅前特別啓発活動等に青少年指導員の皆様の参加をお願いいたします。

多治見地区	: 11月21日(土) 10:00 ~	JR多治見駅
瑞浪地区	: 11月10日(火) 16:00 ~	JR瑞浪駅、パロー中央店、ピアゴ
土岐地区	: 11月5日(木) 16:30 ~	JR土岐駅

今号と次号の一筆啓上は、10年若しくは5年の長きに亘って少年指導員を委嘱され、児童生徒の安心安全に多大な尽力をいただきました方々をお願いしました。

巡回指導活動において経験されたされたこと、またこの間に普段では気づかなかったことが指導員をやっていたから体験できたことなど、今後少年指導員の皆様にとって何らかの励ましや参考になればと考えています。

子育てを振り返って

土岐地区少年指導部
少年指導員 出口 満知子

この夏のお盆休み前後の9日間、5歳ともうすぐ3歳になる2人の孫を預かる事になりました。離れた土地に居を構えて共働きで毎日忙しくしている息子夫婦を、少しでもゆっくりさせてやりたいとの親心からでしたが、下の孫娘は片時も私のそばを離れようとせず、それは一日中一人になることが出来ない毎日となりました。

朝、涼しい間に外で遊び、日が高くなる頃には涼みを兼ねてお買い物。2個までと決められたお菓子を選ぶ孫たちの様子を楽しみながら眺め、そして夕食のメニューを3人で話し合いながら食材をえらびます。午後には少しのお昼寝と絵本の読み聞かせをしたり、ときには児童館にも足を運びました。夕食の支度にはお手伝いをしたがる孫たちとその動きに合わせて作業を進めます。そうした孫たちと過ごした時間、どれほど沢山の言葉を交わしたことでしょう。

振り返って我が子を育てていた時、これほど多く息子たちと会話をし、褒め、いとおしく思いながら子育てをしていたらどうか？ 今可愛い孫たちと関わりながら反省することばかりです。

あれは長男が幼稚園児の時でした。クリスマス会の舞台上、園児たちがみんなで踊っているのに、長男だけが泣いてしまっていて踊ることが出来ませんでした。3月末生まれの長男はひととき小さく頼り無げでした。人並みなことが出来ない我が子に腹を立て、家に帰ってからひどく叱りつけました。その時の長男と同じ年齢になった孫を見ながら、こんなに小さく可愛い子どもになぜあれほど厳しく叱ってしまったのか？ あの時の長男のことを思うと胸が痛くなってしまいます。理不尽な叱り方をしたのはこのときばかりではありません。私はいったい我が子に何を求めていたのか、何を期待していたのでしょうか。子どもの為というよりは自分の身勝手に人並みに、いや人並み以上に育て上げたいという思いが強かったのかもしれない。

将来への心配ばかりをして、今という大切な時間を息子とともに楽しむことが出来なかったその頃の私。「褒めた数と叱った数。どちらが多いか」と問われれば迷わずに「叱った数」と答えるでしょう。息子を褒めた言葉や事柄は何一つ思い出せません。叱ったことは次々と思い出せるのに・・・。

こんな母親に育てられた子どもをさぞ可哀想に思うでしょうが、私の周りにはそうした私をサポートしてくれた人が沢山いました。いつも息子に優しい声かけをしてくれたお隣さん。息子を我が子のように可愛がってくれていた同級生のお母さん。そうした多くの人たちに助けられながら息子たちは育ってきました。

未経験な子育てに訳も分からずただひたすらに走っていました。こんな時地域の人のサポートがなかったら。息子たちは救われなかったでしょう。

今、子育て真っ只中のお父さんお母さんは初心者マークの養育者です。そんな親御さんにそっと寄り添い、サポートすることが、私が地域で受けた援助の恩返しだと思っています。

「子を持って知る親の恩」といいますが、「孫を持って知る真の子育て」が私の教訓です。

田舎の指導員になって

瑞浪地区少年指導部
少年指導員 高綱 紳介

私が指導員を担当する地区は、東濃西部の一番東にある釜戸地区です。恵那市との境にあり、地区の人口は3,425人、世帯数は1,145世帯です。東濃西部の中でも小さな町ですが、JRの駅があり、国道19号も通っています。

唯一の難点は、19号線が瑞浪地区でも交通事故多発地域であり、青少年にとって決して安心・安全な地域とは言えません。

指導員に成った5年前はこんな田舎でも不審者による「声かけ」事件が続けてあり、その時に「110番の家」に100軒近くが参加していただき、子どもを見守る形が出来上がりました。また、平成18年からは町内の危険箇所を小学校のPTAが調べ、「釜戸町・大湫町地域安全マップ」を作っていました。これを地域の区会長、「110番の家」、PTA会員に配布して情報の共有化を図ると共に、危険箇所をすぐに改善することができました。

瑞浪市では防犯対策として「青色回転灯車両」による巡回活動も同じ頃始まり、町民主導の活動となるように、PTA、子ども会、社会福祉協議会、財産区、交通安全協会、区長会に呼びかけ、町中で取り組み出来るようになりました。

地域としては、今この「110番の家」、「安全マップ」、「青色回転灯車両による巡回活動」の3本柱で活動を行っています。自分的には月1回行う街頭巡回指導も含め十分とは言えませんが、積極的な活動を行うことが出来ていると思っています。

しかし、小さな地区はそれなりに心配があります。その1つは、この地区の子どもたちは保育園から小学校そして中学校までズーと1クラスで育つ事です。仲間意識が濃く、連帯感も強いという良い面もあります。けれど競争意識が弱くて、クラス替えが無いので1年毎の緊張感がありません。幼年時代に出来た人間関係は少しは変化していきますが、流れに乗った形で続いていき、15歳を迎えます。そして高校に入ると突然沢山の人と出会い人間関係は複雑になり変化が起きます。地元の人を「高校生デビュー」と言います。新しいことが次々起こるので大きく変わる子どももいます。良い方向にばかり変われば良いのですが、悪い方向に引きずられることもあるのです。そうならないために地区の「おじさん」となって声かけをしていき、地域活動にも参加していこうと思います。

最後にここ釜戸は屏風山、水晶山の山々に囲まれ、土岐川・佐々良木川が流れ、自然が豊で、近所付き合いがあり、犯罪がおきにくく、国道を除けば交通事故も少ない交通の便の良い所です。

次の世代になる子どもたちのために、この素晴らしい環境が引き継がれるようひびの活動が少しでも活かされたら有難いと思います。

少年センターの標語

子どもはみんな自分の子

しっかり褒めて きっちり叱ろう

平成21年度3地区合同研修会報告

平成21年10月3日(土) セラトピア土岐の小ホールにおいて、3地区合同の研修会を開催いたしました。当日は学校や地域の運動会、各種競技大会、陶器祭りなど行事が多い中3地区の指導員69名と学校関係者等14名の皆様が参加してくださいました。

第1部として、多治見市教育長 村瀬 登志夫先生の「子どもの心と地域の教育力」講演。第2部としてグループ別に意見交換を行いました。リラックスした雰囲気の中で自由に意見を話し合っていました。

そのなかで、皆さんにも共通の認識として知っていただきたい話を掲載いたします。

タバコを吸っている子どもに声をかけることが難しい。頭ごしに注意的な言葉はよくない。「早くから納税しなくてもいいよ。大人になって禁煙するのに苦労するよ。」「成長盛りにタバコを吸うのは血液がつまって苦しむよ。」など優しく話しかけると良い。

不良行為をしている子を指導する為に話しかけるだけでなく、問題行動のない普通の子にも気軽に声をかけることもいいと思う。そうして子どもたちとの関係を作っていきたい。あいさつをしても返ってこない。しかし今度は自分から声をかけようという気持ちになるまで根気よく声かけをしていこう。

親が18歳未満の子どもをゲームセンターに連れてきている。親が付いているから問題ないと考えている。学校の生徒指導基準では親が一緒でも禁止されている事を知らない。顔見知りの人から声をかけられるのは効果が大きい。地域の人全体が指導員の意識になれると良いのと思う。

声かけのポイントは、学校の年間行事(テストの期間、運動会、遠足、とう)を指導員が把握しておくこと。「今日のテストどうだった?」など声かけがスムーズにいく。地区によってそれぞれ巡回指導の方法が違っている。他地域の情報を共有することは大切である。

タバコを吸っていて声をかけた子が、元気に働いていたり、その子と年賀状のやりとりができていたりする。こういう関係になれると嬉しい。

ある程度、大人たちもフレキシブルにならないといけな。大人でも間違っていれば、子どもたちに「ごめん」と言うべきである。

巡回指導に学校の先生がいると、児童生徒の顔と名前を良く知っており、声かけがうまい。巡回する時間は、なるべく下校時に合わせ、声をかけられる児童生徒に会えるようにする。高校生男女のデートコースは大体決まっている。土岐川沿いの桜の木の下にあるベンチや大きな橋の下に居る。無防備な高校生が多く、高校生らしからぬ行為をしていることもあり、重点的に巡回している。(高校生の恋愛をやっかみで見ることに疑問があるが?)

いわゆる不良と呼ばれている子たちは、どこに集まっているのか? 情報が欲しい。携帯メールで連絡をとることができ、名古屋に遊びに行っているということを聞いた。

不審者情報の共有化が大切だと思う。情報を指導員全員に流すルートを作ってはどうか。笠原地区は、笠原中央公民館を子どもが親さんとの下校時の待ち合わせ場所として利用している。公共の建物であり、安全面を考えても良い事だと思う。

市之倉地区は、地域とのコミュニケーションがよくとれていて、挨拶などもしっかり出来る体制が出来ている。学校は、勉強するだけではなく楽しい場所でもある。

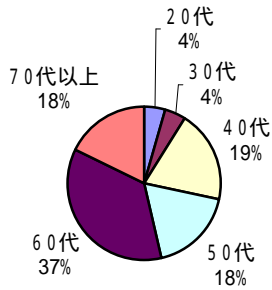
小泉地区は、小学校内に安全パトロール隊があり、登下校時に見回りをしている。

3 地区合同研修会アンケート報告

Q 1 あなたについて教えてください

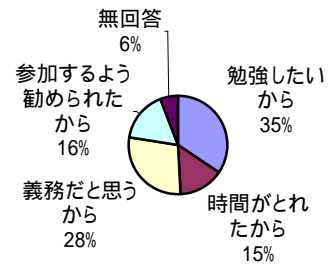
回収数 69人 内訳 男性44人 女性18人 性別なし5人

参加者67名の年代別内訳



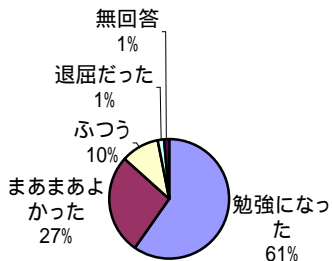
Q 2 参加の動機をお尋ねします

Q2 講演の内容



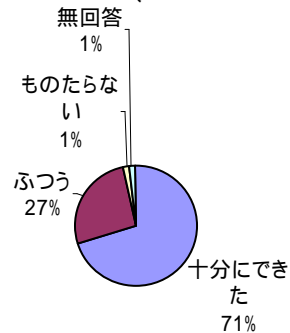
Q 3 講演の内容についてお尋ねします

Q3 講演の内容



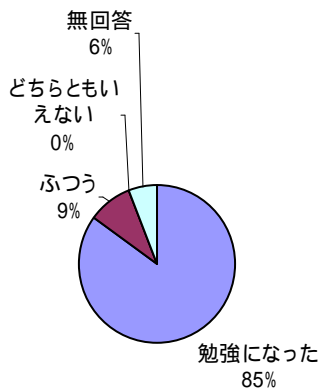
Q 4 十分に話し合いに参加できましたか

Q4 十分に話し合いに参加できましたか



Q 5 話し合いの内容についてお尋ねします

Q5 話し合いの内容



多治見署管内における不良行為少年の行為別・学職別 補導状況

(平成21年1月～9月)

学識別 行為別	未就学	学 生					有職	無職	計
		小学生	中学生	高校生	大学生	その他の学生			
1 飲酒 (内女子)			4	16 2	7	2 1	6 2	10 2	45 7
2 喫煙 (内女子)			35 13	107 14	23 2	43 5	325 22	309 35	842 91
3 薬物乱用 (内女子)								1 1	1 1
4 粗暴行為 (内女子)			11 3	2			1	3 1	17 4
5 刃物等所持 (内女子)				1					1 0
6 金品不正要求 (内女子)									0 0
7 金品持ち出し (内女子)		7	10 5	4 2			1 1		22 8
8 性的いたづら (内女子)			4						4 0
9 暴走行為 (内女子)			3 1	6 2	1		2	1	13 3
10 家出 (内女子)			6 6	3 2					9 8
11 無断外泊 (内女子)			6 1	10			1	4	21 1
12 深夜はいかい (内女子)		2 1	42 13	206 41	1	37 10	75 16	125 26	488 107
13 怠学 (内女子)			7 6	13 2					20 8
14 不健全性的行為 (内女子)			1						1 0
15 不良交友 (内女子)									0 0
16 不健全娯楽 (内女子)		2 2	8 1	8 4			1		19 7
17 その他 (内女子)		6 1	42 9	94 19	1	6 1	21 4	37 7	207 41
合 計 (内女子)	0 0	17 4	179 58	470 88	33 2	88 17	433 45	490 72	1710 286